

## CPD一ロメモ

企業経営者へ向けて

## 事例：学協会を活用した新技術開発

- 1) F社での新技術開発の6カ年計画策定
- 2) S社員のCPD活動
- 3) 大学教授指導によるCPD活動
- 4) P大学での社会人博士後期課程の研究
- 5) F社でのS社員の開発実験



No. 13-1

2022/1/17

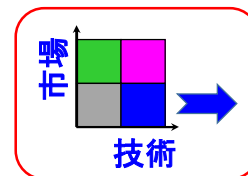
1

## CPD一ロメモ

企業経営者へ向けて

## 1) F社での新技術開発の6カ年計画策定

- ・ 6年先の新技術開発を目指す
- ・ リスクの少ない従来市場とする
- ・ ブランディング：顧客ニーズ探索に注力
- ・ 中堅のS社員を指名し開発企画を推進
- ・ 自社単独でなく学協会活用を基本方針とする



No. 13-2

2022/1/17

2

## CPDーロメモ

## 企業経営者へ向けて

## 2) S社員のCPD活動

- ・ S社員は日本セラミックス協会、日本材料学会、日本化学会へ所属しCPD活動
- ・ 学会活動を通じて交流する大学教授を探索(1年間)



No. 13-3

2022/1/17

3

## CPDーロメモ

## 企業経営者へ向けて

## 3) 大学教授指導によるCPD活動

- ・ S社員は学協会でP大学K教授と知り合った
- ・ F社で目標とする新技術に沿ったテーマで打合した
- ・ P大学では文科省からの要請で社会人博士後期課程の募集中であった
- ・ S社員とK教授とで博士後期課程の研究計画を策定し入学



No. 13-4

2022/1/17

4

CPD一ロメモ

企業経営者へ向けて

## 社会人博士後期課程のメリット

- ・ 大学院授業料のみF社負担で比較的安価(人件費無)
- ・ K教授へは卒業のために指導のノルマがある
- ・ S社員は大学設備で実験、企業での実験は不要
- ・ S社員は企業在籍時の雑用がなく研究に専念
- ・ K教授講座で他の修士や学生と社員Sと積極的交流会



No. 13-5

2022/1/17

5

CPD一ロメモ

企業経営者へ向けて

## 4) P大学での社会人博士後期課程の研究

- ・ 複数の学会へ「F社+P大学」連名で学会発表
- ・ 複数の学会発表をまとめて連名で論文投稿
- ・ K教授研究室で3年間の博士後期課程の修了



No. 13-6

2022/1/17

6

CPD一ロメモ

企業経営者へ向けて

## 5)F社でのS社員の開発実験

- 修了後S社員は企業へ戻り開発実験(2年間)
- 顧客現地で役立つテーマを推進
- 顧客への宣伝のため学会発表は継続
- K教授と講座学生に顧客での実験を見学して貰う
- 顧客現地での部品の寿命向上に貢献
- 次の開発を狙ってS社員はCPD活動を継続



No. 13-7

2022/1/17